令和４年度事務事業評価シート　（評価対象年度　令和３年度）

●基本情報

事業名(取組名)		公共交通対策事業				評価番号	1-3-10-1
担当課		政策企画課	係	政策企画係	予算科目	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【１】安全で人にやさしい快適なまちづくり				会計	【01】一般会計
	基本施策	【３】道路・交通網の整備				款	【0102】総務費
	施策	【１０】公共交通の充実				項	【010201】総務管理費
	主な取組	①公共交通の利便性の向上				目	【01020106】企画費
						事業	公共交通対策事業

●計画　～PLAN～

根拠法令等	◉ なし　○ あり　名称
新規・継続	○ 新規　◉ 継続　事業開始年度　年度　☑ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり（事業終了年度：令和　年度）　◉ 単年度繰り返し　○ 単年度のみ
実施手法 （すべてチェック）	☑ 町が直接実施（直営）　☐ 委託〔☐ 全部委託　☐ 一部委託〕　☐ 補助金等 ☐ 町民協働　☐ 指定管理　☐ 事務局　☐ その他（　）
実施形態	☐町単独　☑国･県補助事業　☐国･県補助事業+町事業(上乗せ)　☐その他（　）
事業概要	高齢者等の外出についての考えや不安に感じている内容や要望等を伺い，公共交通の利便性の向上に資するため，令和３年８月に「利根町公共交通に関するアンケート調査」を実施し，学識経験者等で構成する「地域公共交通会議」を開催し，専門家のアドバイスを伺いながら，町の公共交通の方向性について検討します。 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し，交通事業者に対し，支援を行います。 また，広域幹線道路の整備のため，JR常磐線及び成田線沿線の活性化と利便性向上を目指し要望活動やキャンペーンを実施します。

●実施　～DO～

事業業績	「利根町公共交通に関するアンケート調査」の結果において，ふれ愛タクシーの町外行先の追加に関する問いでは，ＪＡとりで総合医療センター，ＪＲ成田線布佐駅などの希望が多くありました。そこで，そのアンケート調査結果をもとに，利根町地域公共交通会議を開催し，ふれ愛タクシーの新たな町外への乗り入れ先について協議をしていただき，新たな乗り入れ先として，ＪＡとりで総合医療センターを令和４年度より運行することを決定しました。 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した交通事業者への支援では，公共交通利用者の利便性の保持を図ることができました。 また，常磐線沿線市町・成田線沿線市町で構成される同盟会・協議会へ参加し，他市町との情報交換を行うと共に，ＪＲへの要望活動などを実施しました。

		主な歳出の節	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
支出	内訳	18　負担金，補助及び交付金	167,000　円	8,077,000　円	1,812,000　円
		12　委託料	円	3,998,852　円	円
		10　需用費	円	504,625　円	47,850　円
		13　使用料及び賃借料	円	360,000　円	360,000　円
		7　報償費	円	86,800　円	119,200　円
		その他	3,160　円	28,085　円	342,092　円
	事業費　計		170,160　円	13,055,362　円	2,681,142　円

		主な歳入の科目	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
財源	内訳	国支出金	円	2710000　円	1,650,000　円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	170,160　円	10,345,362　円	1,031,142　円
	事業費　計		170,160　円	13,055,362　円	2,681,142　円

●評価　～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	◉ 貢献している　○ 見直す余地がある	
		理由	公共交通の利便性の向上を図るためには，他市町との連携は必要不可欠ですので，各同盟会・協議会への参加は目的の達成に向け貢献できていると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	◉ 妥当である　○ 見直す余地がある	
		理由	利根町地域公共交通会議設置要綱第1条にある通り，地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り，地域の実情に即した輸送サービスを実現するためには，町が主体となり事業を行うことが妥当であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	○ 余地がない　◉ 見直す余地がある	
		理由	新たに地域公共交通計画を策定することにより，これから実施していく事業等の方向性を整理し，また，担当者が変わって場合の引継ぎの役割をはたすなど，成果を向上させることができます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	○ 可能性がある　◉ 可能性がない	
		理由	他市町との連携，地域公共交通会議の実施等による情報共有が途絶えることは事業目的達成を妨げることに繋がりますので，廃止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	○可能性がある　○可能性がない　◉類似事業はない	
		理由	
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	◉ 余地がない　○ 余地がある	
		理由	各協議会等への負担金は，情報交換や連携を図るうえで必要なものであり，不要なコストはないため，これ以上の削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	○ 適正である　○ 見直す余地がある ◉ 受益者負担を求める事業ではない	
		理由	

●改善　～ＡＣＴＩＯＮ～

今後の方向性	継続　（ ○ 現状維持　○ 縮小　◉ 改善　○ 拡大　）○ 休止　○ 廃止（終了）　○ 統廃合　○連携
	【理由】 令和４年度における事業の取組については，現在参加している同盟会や協議会において，他市町との情報交換を行うとともに連携の強化に努めます。その他，成田線活性化推進協議会では，新たな事業として成田線沿線の駅周辺の清掃活動に取り組んでいきます。 また，町の新たな取組としては，町の公共交通の利便性向上を図ることを目的とした地域公共交通計画を策定するため，地域公共交通会議を開催し，専門家等のアドバイスを伺いながら公共交通の利便性向上に取り組み，令和６年度内の策定を目指します。

令和４年度事務事業評価シート　（評価対象年度　令和３年度）

●基本情報

事業名(取組名)	ふれ愛タクシー運行事業				評価番号	1-3-10-2(1)
担当課	政策企画課	係	政策企画係	予算科目	☐ 予算なし	
基本計画	基本方針	【１】安全で人にやさしい快適なまちづくり		予算科目	会計	【01】一般会計
基本計画	基本施策	【３】道路・交通網の整備		予算科目	款	【0102】総務費
基本計画	施策	【１０】公共交通の充実		予算科目	項	【010201】総務管理費
基本計画	主な取組	②公共交通サービスの確保		予算科目	目	【01020106】企画費
基本計画	主な取組			予算科目	事業	ふれ愛タクシー運行事業

●計画　～PLAN～

根拠法令等	◉ なし　○ あり	名称	
新規・継続	○ 新規　◉ 継続	事業開始年度	平成　20　年度　☐ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり（事業終了年度：令和　　年度）　◉ 単年度繰り返し　○ 単年度のみ		
実施手法（すべてチェック）	☑ 町が直接実施（直営）　☐ 委託〔☐ 全部委託　☑ 一部委託〕　☐ 補助金等 ☐ 町民協働　☐ 指定管理　☐ 事務局　☐ その他（　　）		
実施形態	☑町単独　☐国･県補助事業　☐国･県補助事業+町事業(上乗せ)　☐その他（　　）		
事業概要	デマンド型乗合タクシーを運行し，住民の移動手段を確保します。 町内以外に，関東鉄道竜ケ崎駅，龍ケ崎済生会病院へスポット乗り入れすることにより，利用者の利便性に配慮します。		

●実施　～DO～

事業業績	住民の移動手段を確保するためにデマンド型乗合タクシーを運行しました。 令和3年度実績　利用者数：8,047人（1日当たり利用者数：33.3人，1回当たり利用者数:3.7人） また，新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して登録者に1人3,000円分の利用券を配布し，利用者が増加するよう促進を図りました。

		主な歳出の節	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
支出	内訳	12　委託料	8,343,210　円	14,242,000　円	8,133,000　円
支出	内訳	1　報酬	円	3,983,239　円	4,176,810　円
支出	内訳	10　需用費	1,074,792　円	864,755　円	1,273,828　円
支出	内訳	7　報償費	円	482,700　円	720,300　円
支出	内訳	11　役務費	197,132　円	238,321　円	200,269　円
支出	内訳	その他	3,508,610　円	174,642　円	87,076　円
支出		事業費　計	13,123,744　円	19,985,657　円	14,591,283　円

		主な歳入の科目	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
財源	内訳	国支出金	円	5,762,700　円	720,300　円
財源	内訳	県支出金	円	円	円
財源	内訳	受益者負担金	2,643,150　円	2,261,000　円	2,854,800　円
財源	内訳	地方債	円	円	円
財源	内訳	その他	円	円	円
財源	内訳	一般財源	10,480,594　円	11,961,957　円	11,016,183　円
財源		事業費　計	13,123,744　円	19,985,657　円	14,591,283　円

●評価　～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	◉ 貢献している　○ 見直す余地がある	
		理由	デマンド交通は交通弱者の移動手段の確保が目的であるため，公共交通サービスの確保に貢献しているといえます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	◉ 妥当である　○ 見直す余地がある	
		理由	デマンド交通は，町の地域の実情に沿った事業を展開していく必要があることから，町が事業主体となることが妥当であります。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	○ 余地がない　◉ 見直す余地がある	
		理由	令和３年度には，ふれ愛タクシーの１台増車，JAとりで総合医療センターの乗り入れを決定しましたが，今後，ふれ愛タクシー事業のさらなる利用促進を図るため，車両へのペイントや広告の掲載などにより，向上させることができます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	○ 可能性がある　◉ 可能性がない	
		理由	デマンド交通は交通弱者の移動手段の確保が目的であります。今後事業拡大の可能性は考えられますが，廃止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	○可能性がある　◉可能性がない　○類似事業はない	
		理由	他の交通サービスとして，町内を巡回する福祉バス（福ちゃん号）がありますが，ドア・ツー・ドアで運行するふれ愛タクシーとは運行形態が違うことから，統廃合は考えておりません。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	◉ 余地がない　○ 余地がある	
		理由	町の直営事業であり，人件費，燃料費など運営費用は必ず必要となるため，これ以上のコスト削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	◉ 適正である　○ 見直す余地がある ○ 受益者負担を求める事業ではない	
		理由	他市町村のデマンド交通の運賃を精査して金額を設定していますので，適正であると考えます。

●改善　～ＡＣＴＩＯＮ～

今後の方向性	継続　（ ○ 現状維持　○ 縮小　○ 改善　◉ 拡大　）○ 休止　○ 廃止（終了）　○ 統廃合　○連携
	【理由】 「利根町公共交通に関するアンケート調査」を実施した結果，ふれ愛タクシーの町外行先の追加に関する問いでは，ＪＡとりで総合医療センターの希望が多くありました。 この結果をもとに利根町公共交通会議を開催し，ふれ愛タクシーの新たな乗り入れ先について協議を行い，ふれ愛タクシーを１台増車し，ＪＡとりで総合医療センターを令和４年度より運行することを決定しました。 また，令和4年度にはふれ愛タクシー利用者アンケート調査を実施予定ですので，集計データを参考としながら利用者の利便性向上のため，事業の改善や拡大について検討します。

令和４年度事務事業評価シート　（評価対象年度　令和３年度）

●基本情報

事業名(取組名)	保健福祉センター運営事業			評価番号	1-3-10-2(2)
担当課	保健福祉センター	係	庶務係	予算科目	☐ 予算なし
基本計画 基本方針	【１】安全で人にやさしい快適なまちづくり			会計	【01】一般会計
基本施策	【３】道路・交通網の整備			款	【0103】民生費
施策	【１０】公共交通の充実			項	【010301】社会福祉費
主な取組	②公共交通サービスの確保			目	【01030110】保健福祉センター費
				事業	保健福祉センター運営事業

●計画　～PLAN～

根拠法令等	◉ なし　○ あり	名称	
新規・継続	○ 新規　◉ 継続	事業開始年度	平成　27　年度　☐ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり（事業終了年度：令和　　年度）　◉ 単年度繰り返し　○ 単年度のみ		
実施手法（すべてチェック）	☑ 町が直接実施（直営）　☐ 委託〔☐ 全部委託　☐ 一部委託〕　☐ 補助金等 ☐ 町民協働　☐ 指定管理　☐ 事務局　☐ その他（　　）		
実施形態	☑町単独　☐国･県補助事業　☐国･県補助事業+町事業(上乗せ)　☐その他（　　）		
事業概要	保健福祉センター利用者の送迎バスとして運行を開始し，その後，公共機関を連絡する町内巡回ルートの路線を定め，誰でも利用できる無料バスとして利用を拡大しました。 現在町内全域を巡回する外回り（5便／日），比較的利用者の多い文・布川地区を巡回する内回り（6便／日）の2コースで運行しています。		

●実施　～DO～

事業業績	
	平成30年度に車両を1台増車したこともあり，利用者は増加傾向にありましたが，コロナ禍による外出自粛要請などにより，ここ2年間の利用者は減少しました。しかしながら，買い物や医療機関，公共施設などへ行くために，高齢者や車を運転しない町民の移動手段として定着しました。 年間利用者数　R元年度：10,678人，R2年度：7,315人，R3年度：6,919人

支出	主な歳出の節	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
内訳	1　報酬	5,399,762　円	5,970,649　円	6,058,993　円
	10　需用費	1,569,852　円	1,346,853　円	1,572,620　円
	13　使用料及び賃借料	1,618,188　円	1,334,688　円	1,336,954　円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
	事業費　計	8,587,802　円	8,652,190　円	8,968,567　円

財源	主な歳入の科目	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）	令和３年度（実績）
内訳	国支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	8,587,802　円	8,652,190　円	8,968,567　円
	事業費　計	8,587,802　円	8,652,190　円	8,968,567　円

●評価　～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	◉ 貢献している　○ 見直す余地がある	
		理由	便数は少ないものの，高齢者や車両を運転することができない方への移動手段として貢献しているといえます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	◉ 妥当である　○ 見直す余地がある	
		理由	利用料が無料で収入が見込めないことから，住民サービスの一環として町が事業運営することは妥当であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	◉ 余地がない　○ 見直す余地がある	
		理由	車両台数や運転手の負担などを考慮するとこれ以上の増便は困難であり，運行時刻も利用者に定着していますので，今のところ見直す余地はありません。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	○ 可能性がある　◉ 可能性がない	
		理由	外出自粛要請などにより利用者数は減少しているものの，買い物や医療機関への利用は多いため，利用者の観点から廃止・休止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	○可能性がある　◉可能性がない　○類似事業はない	
		理由	他の交通サービスとして，ドア・ツー・ドアで運行するふれ愛タクシーがありますが，双方を上手に利用している方はいるものの，運行形態が違うことから，今のところ統廃合の可能性はありません。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	◉ 余地がない　○ 余地がある	
		理由	町の直営事業であり，人件費・燃料費などの運営費用はどうしても必要となるため，これ以上のコスト削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	◉ 適正である　○ 見直す余地がある ○ 受益者負担を求める事業ではない	
		理由	福祉バスのため利用料金は取らないことが適正であると考えます。

●改善　～ＡＣＴＩＯＮ～

今後の方向性	継続　（ ◉ 現状維持　○ 縮小　○ 改善　○ 拡大　）○ 休止　○ 廃止（終了）　○ 統廃合　○連携
	【理由】 各バス停の利用状況や町民の要望等があれば，その都度必要に応じて見直しを検討していきますが，当面の間は現状のまま運行していきます。 現在，福祉バスは主要道路を巡回するルートが中心となっています。今後ますます高齢化が加速することで，バス停までの移動が難しい高齢者が増えることが予想されますので，将来的には，細かい地域まで入る有料のコミュニティーバスの運行を検討していく必要があると考えます。